

勤王のイヌム中復國同謀員ニ賣斃セラルテハ、
 其ノイノイノ自重シテ來ヌノイヌム今日復國ハ資本家ヲ論ズル
 子ノイノ其間衣冠一派ノ業種ニ違ヒテハ同勢將彈治ノ意思ニ出
 謀善ハ聯合本來ノ使命ヲ奉ヘム朝ニ就テ以テ吾々ノ十二調ヲ修ム
 又專ハ短ニ請議請承取ルベキニテハ、然レテ其業種ニ就テモ亦
 來ヌノイヌム其間衣冠一派ノ朝野間ノ見解ノ相違ハ其業種
 就テ確立スルニ由テ去入ヲ半開請議ノ其相違糾纏ノ益々ニ深クシテ
 請承取ルベキニ由テ復國同志會ヲイヌムハ大五十四年九月三十日東京ニ

林 眞 重 嶺

一本通辯告

財團法人協同會大阪支所

二 於敢然トシテ立ツテ諸君ト共ニ今日ノ大阪ノ同志ヲ糾合シ吾々ノ
 生活種種難加爲ヲ努力ヲ加ヘテナツタノデアル
 現在京都ニ多數ノ同志アリ其勢勇以テ京阪神勢同志ヲ糾合スルコ
 トハ勿論全日本連帯從業員ノ同志ノ獲得ニ努力セバナラヌ
 此意味於テ甚速著與勤全重大給ル黨義ヲ持ツモノデアル、鈴木
 會長其進歩的實能剛毅強硬獨斷傑出決定シテ合法的ナ労働運動
 ニ對シテ以テ堅迫者ト提下云ツタトノコトデアルガ然シナカラ諸君
 ハ此言葉を信ジテハナラナイ説明者ハ單士ル朝世辭高過摩ナイモ
 ノデ而雖邊者モ本朝其表面的快彈壓外ナクトモ陰險極マル壓迫カ
 アリ其上遍友同志會ノ誘惑力更強トシテ覺悟セバ放ラヌ、其時
 於於無階級極快説教獲獲體宅壇設ナ伴ヨウ本大會ヲ契機トシテ諸
 般ノ準備ヲ整ヘルト共ニ本大會開被ツテ總本山夕執行委顯ニ依テ
 確固強固組織獲得總圖及派以休職募集ニ歸スル件

(協同會各報集實職諸君ク認ス)